

第202回（令和3年5月30日施行）

1 級商業簿記・会計学

第1問

本問は、企業会計原則一般原則における継続性の原則とそれを補足した注解・注3により、継続性の原則の基礎的な理解を問うている。

第2問

本問ではそれぞれ、1. 現金過不足の処理、2. 試用販売、3. 固定資産の割賦購入、4. 資本的支出と収益的支出、5. 利付債券の取得と端数利息、6. 外貨建取引の決済について問うており、いずれも基本的な知識で解答できる問題である。

第3問

本問は財務分析に関する基本的な知識を問うている。財務分析には、決算書の数値をそのまま用いる実数分析と他の数値との関連で見る比率分析がある。本問では、収益性分析であるROA・ROEと安全性分析である当座比率・総資産負債比率を問うている。ROAは総資産利益率とよばれているが、このときの利益には営業利益、経常利益あるいは事業利益などがある。本問では経常利益を用いて計算する。ROEは自己資本当期純利益率とよばれているが、この場合の利益は基本的には税引後当期純利益である。したがって法人税等を控除した数値を用いることに注意されたい。

第4問

本問は、基本的な連結精算表を作成する問題である。過去問においてもよく出題される領域であるため、完全に理解していることが望ましい。

第5問

本問は、簿記的処理ができればよいというのではなく、財務諸表の作成能力も問われる。したがって、損益計算書と貸借対照表の基本的な項目の分類・配列、表示上の科目などは理解しておかなければならない。本問では、貸借対照表の負債の部と純資産の部の作成、報告式の損益計算書の作成である。決算整理仕訳等、過去問においてもよく出題されているので完全に理解していることが望ましい。